

園原太郎名譽教授の御逝去

會告

京都大学名譽教授、園原太郎先生は、昭和五十七年三月十四日、逝去された。享年七十三歳。  
 先生は明治四十一年十一月二十六日石川県に生れ、昭和六年京都帝国大学文学部哲学科(心理学)を卒業ののち、京都市児童院囑託を経て、同十三年に京都帝国大学文学部講師となられた。爾後、同二十年に助教、二十八年に教授に昇進され、四十七年、停年退官。この間、三十有余年の長きにわたり、哲学科全般、特に心理学教室において、数多くの後進を養成された。

園原先生の主な研究分野は、心理学の中でも特に発達心理学を中心とする領域であつて、その御研究は、「二才児の遠近把握」「幼児の図形類同視における方向及び配置の問題」等の実験的論文に始まり、本誌の「発生的見地より見たる空間知覚の問題」(昭和二十八年)において理論的に要約されたのである。また従来発達心理学の考え方を一新し、機能的因果関係を発達連関の問題に求めるための理論的諸問題を、本誌に「行動の個体発達における連続性の問題」(昭和三十六年)と題して発表された。なお、先生を主編者とする『認知の発達』は、先生のお考えを基礎にしたこの方面の研究の集大成である。先生は専門家の教育指導に努められるとともに、知識の実際の適用にも心を配られた。大学関係者のみならず、幼児教育に携わる人々や世の母親たちにも、効果ある助

言を惜しまれなかつた。さるを、いま、忽然として白玉楼中の人となる。在りし日の御温容を偲べば、痛惜哀悼の念、切切として慰む所を知らない。御冥福を心からお祈り申し上げます。  
 昭和五十七年五月二十日

京都哲學會

二 京都大学文学部哲学科卒業論文題目

——昭和五十七年三月——

哲 学

伊 勢 俊 彦 D. Hume における「知覚」と「対象」について

岡 泰 二 郎 カントの図式論について

竹 内 功 カントの道徳法則について

仲 原 孝 ハイデッガーに於ける人間の日常性の分析論

藤 井 実 メルロ・ポンティ『知覚の現象学』第一部

宮 武 利 文 カントにおける演繹について

——概念の分析論の研究——

望 月 俊 孝 カント『純粹理性批判』における自我

竹 山 卓 Merleau-Ponty の言語の現象学

神 田 敏 文 諸世界観の強迫性と仏陀的精神との対比

中 川 明 男 ロック著『人間知性論』について

## 西洋哲学史

高橋 洋介 『非学問的後書』におけるキルケゴールへの

ーゲル批判

## 中国哲学史

宇佐美文理 莊子内篇について

小笠 智章 張載の思想における「心」の周辺

多田 文範 柳宗元の思想についての一考察

福島 一郎 黄宗羲の経学

## 心理学

足立 浩平 内発的動機づけに及ぼす報酬およびそのコン

ティンジェンシーと成績の効果

荒井 裕子 集団内地位と集団過程の集団への同調に及ぼ

す影響

稲垣奈緒美 達成動機と努力変数の結果としての能力の帰

属

岡田 孝子 社会的相互作用場面における対人認知の研究

——囚人のジレンマ・ゲームを用いての

一考察——

奥村 朋子 指示忘却パラダイムにみる Memory Mod-

ifierとしての検索

佐藤 淑子 代償がリアクタンスに及ぼす影響

竹西 正典 mere exposure effect とにおける再認の役割  
藤田 容子 Visual Monitor System と Verbal System  
の System 内 System 間の干渉

武藤 洋一 色彩認知に作用する言語的効果

山 祐嗣 知識による大小判断に於ける距離効果、カテ  
ゴリー効果、意味適合性効果吉川 肇子 繰返し説得される（いわゆる「免疫」）効  
果の研究杉谷 将典 Proximity データと Preference データによ  
る多次元尺度法生沢 弘達 重力と筋緊張が見えに及ぼす影響について  
黒木 佳昭 条件刺激と無条件刺激のセッション間の負の  
相関によって生起する条件的抑制

## 倫理学

大西 哲司 「何を知るか」

——観念の産出をめぐる——

福本 明廣 マルクス、エンゲルスのフォイエルバッハ批  
判について脇屋 公一 ブーバー『我と汝』の「汝を云う関係」につ  
いて渡邊 啓真 ホワイトヘッドにおける真理の概念について  
細田 正和 フォイエルバッハにおける人間観

美学美術史学

- 今泉 智幸 東寺「伝真言院曼荼羅」について
- 郷田 りか デューラーの三大銅版画について
- 河野 道房 高桐院藏山水図双幅について
- 弦川 直樹 池大雅「十便帖」
- 星野 剛 歌川国芳論
- 松原 哲哉 アレーナ礼拝堂のフレスコサイクルに見られる背景建築の考察
- 吉岡 留美 身体と芸術  
——メルロ・ポンティを中心に——
- 米屋 優 平等院鳳凰堂阿弥陀如来像について
- 飯野 正仁 チェコ構造主義美学  
——ムカジヨフスキーの美的機能論を中心に——
- 椿 旬子 中村彝の晩年の作品について  
——彼の作品に対する批評の変遷から——
- 寺島 晶子 クリムトの「黄金の時代」について
- 星野 千晶 唐招提寺金堂の仏像について
- 岡田 潔 デュレンヌの芸術作品論
- 下清水 博明 シラーの美学理論についての一考察
- 高木 厚人 平安朝に於ける草仮名についての一考察

社会学

- 荒瀬 進 新中間層による都市化現象
- 大西 信治 差別意識をめぐる考察
- 大森 不二雄 社会階層と政治参加
- 鈴木 泰雄 都市化と精神障害
- 徳地 信一 現代青年の意識と行動
- 永井 靖 労働者意識の変化についての実証的研究
- 長澤 克重 新中間層の研究
- 遠藤 貴之 現代日本における独占資本の政治的支配構造についての考察
- 田中 宏明 逸脱行動の研究
- 藤井 正寛 デュルケム『プラグマティズム論』の研究
- 本多 哲也 現代の生活における擬似環境論
- 真野 修三 非行論  
——青少年と社会——
- 宮脇 幸生 日常生活の社会学的研究  
——ハロルド・ガーフィンのエスノメソドロジーについての考察——
- 茨木 透 家族変動に現れる子供  
——子供の数に対する意志——
- 小川 伸一郎 社会的偏見について
- 杉浦 正和 現代都市社会の諸相
- 菅 康弘 時間体系と社会

中澤宏文 M・ウェーバー『宗教社会学』の検討  
——歴史における理念の役割——

宗 教 学

柴田正勝 ヘーゲルの国家観について

岩田文昭 意志の哲学と解釈学

中村英雄 『意識の経験の学』に於ける「なすこと」

光森英毅 ガラスの迷路

——己が眼を見ること、あるいは主体検証の可能性について——

仏 教 学

安藤光慈 『教行信証』を中心にした「自然」の研究

前田泰道 八千頌般若経における parinama について

大畑俊之 『唯識二十論』について

佐々木 閑 根本説一切有部律 adhikaraṇavastu について

平田継夫 伝統的精神運動と現代の精神運動

——インドとアメリカにおける運動とその精神療法を中心として——

基 督 教 学

芦名定道 P・テイリッヒにおけるシンボルの問題

南場良文 旧約における「病」の問題について

三 京都大学大学院文学研究科(哲学系)

修士課程修了論文題目

——昭和五十七年三月——

哲 学

石川 徹 知識と信念

——ヒュームにおける「経験」の意味——

伊藤 徹 ハイデガーに於ける歴史の問題

生と理性

——E・フッサールにおける近代科学の

生成論的考察の意味——

宮原 勇 フッサールに於ける形相認識について

木岡伸夫 生成と行為

——ベルクソンにおける瞬間性の問題——

鬼界彰夫 生きた鏡

——ライブニッツの個体論——

倫 理 学

北尾宏之 カントにおける自己意識と道徳性

水谷雅彦 シューラーに於ける価値認識

西洋哲学史

安藤 正人 情念について

——デカルトとトマス——

坂田 登 トマス・アクィナスにおけるインテンチオの問題

問題

森 泰一 プラトン『バイドン』における「魂」論

——最後の不死証明をめぐる——

朴 一功 Paton: *Politica* に関する一考察

——「太陽の比喩」「線分の比喩」「洞窟の比喩」をめぐる——

宗 教 学

江口 みりあむ ブーバーにおける宗教的現実

谷口 静浩 ハイデッガーの思索の変り行き

平尾 真由美 カント哲学における宗教

朝倉 喜美枝 W・オットーの神話論について

仏 教 学

野口 圭也 無上瑜伽密教における真理について

心 理 学

井手 亘 報酬分配における不公平の解消についての研究

大谷 芳夫 文字認知における大脳半球機能差について  
日根野 雅代 記憶における Generation Effect について  
山田 恒夫 自動形成スケジュールにおける反応パターンの変動

——行動獲得過程の一分析——

社 会 学

栗本 英世 分節リニイジ体系論

——社会構造のモデル論の視座から——

山下 雅之 社会的行為理論の再検討

美 学 美術史学

井上 明彦 「感覚的なもの」と絵画

——メルロ・ポンティをふまえて——

永井 隆則 セザンヌの晩年作品について

久谷 恵子 デューラーの木版画「ヨハネ黙示録」

吉岡 洋 カント美学と実践の問題

四 京都大学大学院文学研究科博士課程単位

修得者ならびに博士後期課程学修者氏名

(但し、哲学系のみ)

——昭和五十七年三月——

哲 学 専 攻……酒井 潔

哲学研究 第五百四十五号

宗教学専攻……嶋田義仁 (以上単位修得者)

哲学専攻……小林富美子 竹田浩一 中島英司

平松希伊子

倫理学専攻……佐別当義博

西洋哲学史専攻……飯塚知敬 堺 正憲 松崎一平

吉川康夫

宗教学専攻……伊藤 聡 石島孝文 氣多雅子

吉田喜久子 松岡由香子

心理学専攻……岡本真一郎 加藤啓一郎 北田 隆

社会学専攻……田中 滋

美学美術史学専攻……井面信行 梅原賢一郎 島本 澣

室井 尚 (以上学修者)

五 京都大学文学部哲学科講義題目

——昭和五十七年度——

※二回生が履修できる専門科目

〔共〕大学院と共通

〔院〕大学院のみ

哲 学

講義 教授 辻村 公一 ※哲学概論

研究 教授 辻村 公一 ハイデッガーの思索空間 〔共〕

研究Ⅰ助教 木曾 好能 知覚の哲学的考察 〔共〕

研究Ⅱ助教 木曾 好能 論理学 〔共〕

研究 短大 石井 誠士 人間的自由の問題 〔共〕

” 講師 梅原 猛 日本思想史(倫理学、宗教学、仏

” 講師 今道 友信 数学と共通) 〔共〕

” 講師 加茂 直樹 Metatechnica 〔共〕

” 講師 辻村 公一 法と道徳(二つ)の諸問題 〔共〕

演習Ⅰ教授 辻村 公一 Hegel: Enzyklopädie der phi-

losophischen Wissenschaften 〔共〕

” 助教 木曾 好能 Hume: A Treatise of Human

” 助教 木曾 好能 Nature 〔共〕

” 助教 木曾 好能 Zum Verstehen des fremden

” 助教 木曾 好能 Ich bei Georg Simmel, Max

” 助教 木曾 好能 Scheler und in Husserls Fünfter

” 助教 木曾 好能 Cartesianischer Meditation 〔共〕

” 講師 齋藤 義一 Kant: Kritik der praktischen

” 講師 井上 庄七 Vernunft 〔共〕

” 講師 井上 庄七 Descartes: Les Passions de

” 講師 井上 庄七 l'Âme 〔共〕

” 講師 伊藤 邦武 Leibniz: Monadologie 〔共〕

” 講師 伊藤 邦武 哲学の諸問題 〔院〕

演習Ⅱ助教 辻村 公一 哲学の諸問題 〔院〕

” 助教 木曾 好能 哲学の諸問題 〔院〕

西洋哲学史

講義	教授	藤沢 令夫	※西洋古代哲学史概説	演習Ⅰ教	山田 晶	Augustinus: De Trinitate, (前年度の続々)	[共]
”	教授	山田 晶	※西洋中世哲学史概説	演習Ⅱ教	山田 晶	Thomas Aquinas: Summa Theol. I, q. 21 46 (前年度の続々)	[共]
”	教授	酒井 修	※西洋近世哲学史概説				
研究	教授	藤沢 令夫	プラトン後期認識論の問題 [共]	演習Ⅲ教	山田 晶	Thomas Aquinas: Summa Theol. I, q. 68 74 (前年度の続々)	[共]
”	教授	山田 晶	創造の問題 [共]	演習Ⅳ教	水田 英美	Thomas Aquinas: De principiis nature	[共]
”	教授	山下 正男	中世における修辭学 [共]	”	中川 純男	Augustinus: De Civitate Dei	[共]
”	教授	松田 禎二	中世の歴史哲学(基督教学と共通) [共]	”	長倉 久子	Bonaventura: Itinerarium mentis ad Deum [共]	[共]
”	教授	江原 昭善	人類学からみた人間の本性(心理学と共通)(後期) [共]	”	酒井 修	G. W. F. Hegel: Phänomenologie des Geistes(Das unglückliche Bewußtsein 46) [共]	[共]
”	助教授	品川 嘉也	科学哲学論(心理学と共通) [共]	演習Ⅰ教	木村 彰吾	M. Merleau-Ponty: Phénoménologie de la Perception (La Temporalité 46) [共]	[共]
”	講師	野本 和幸	言語哲学 [共]	演習Ⅱ教	今林万里子	B. Snell: Die Entdeckung des Geistes—Studien zur Entstehung des europaischen Denkens bei den Griechen [共]	[共]
”	講師	西谷 敬	社会科学の哲学的基礎(社会学と共通) [共]	演習Ⅲ教	小池 澄夫	Platon: Apologia Socratis (論	[共]
”	講師	金子 晴勇	ルターと後期スコラ神学(基督教学と共通) [共]	演習Ⅳ教	内山 勝利	Heracleitos: Fragmenta [共]	[共]
”	教授	藤沢 令夫	Platon: Timaeus 64A~(西洋古典哲学と共通) [共]	演習Ⅰ教	藤沢 令夫	Aristoteles: Ethica Nicomachea (倫理学の大学院と共通) [共]	[共]
”	教授	藤沢 令夫	古典学西洋古典文学と共通 [共]	演習Ⅱ教	岡 道男	Thucydides, II 55~(西洋古典文学と共通) [共]	[共]
”	教授	岡 道男	Thucydides, II 55~(西洋古典文学と共通) [共]	演習Ⅲ教	内山 勝利	Heracleitos: Fragmenta [共]	[共]
”	教授	内山 勝利	Heracleitos: Fragmenta [共]	演習Ⅳ教	内山 勝利	Heracleitos: Fragmenta [共]	[共]

哲学研究 第五百四十五号

理学と共通)

講読 講師 三谷 好憲 William James: The Will to Believe (宗教学と共通) [共]

※(1) I. Kant: Prolegomena (2) Th. Hobbes: Leviathan

研究 教授 酒井 修 歴史の問題と解釈学 [院]

演習II教授 酒井 修 G. W. F. Hegel: Phänomenologie des Geistes (Die schöne Seele I, a) [院]

印度哲学史

講義 教授 服部 正明 ※インド思想史

研究 教授 服部 正明 Sankhya 哲学研究 [共]

人文研究 井狩 弥介 ヒンドゥー教祭式の諸問題(梵語学梵文学と共通) [共]

講師 竹中 智泰 Turakshāra の研究(仏教学と共通) [共]

講師 徳永 宗雄 南インド宗教史概説(梵語学梵文学と共通) [共]

演習 教授 服部 正明 Bhagavadgīta, Purāna 選 [共]

助教授 小林 信彦 サンスクリット文選I(梵語学梵文学、仏教学と共通) [共]

語学 講師 正信 公章 ※サンスクリット文法(各学科共通サンスクリット文法、仏教学、

西南アジア史学、梵語学梵文学と共通)

中国哲学史

講義 助教授 池田 秀三 ※中国思想史

研究 助教授 池田 秀三 鄭女の緯書学

人文研究 助教授 麦谷 邦夫 『抱朴子』研究 [共]

人文研究 助教授 吉川 忠夫 後漢末・三国の學術(東洋史学と共通) [共]

講師 佐藤 仁 宋学前史 [共]

講師 金谷 治 『管子』の研究 [共]

人文研究 教授 尾崎雄二郎 莫友芝「韻学源流」(中国語学中国文学と共通) [共]

助教授 西脇 常記 史通通釈 [共]

講師 日原 利国 翁注「困学紀聞」 [共]

助教授 福嶋 正 ※馮友蘭「中国哲学史」 [院]

演習 助教授 池田 秀三 姚椿「国朝文録」 [院]

心理学

講義 教授 本吉 良治 ※心理学概論

教育学 助教授 坂野 登 (前期)

教育学 助教授 河合隼雄 (後期)

人格心理学概論(教育学部と共通)



研究	教授	本吉 良治	動物の行動と学習	[共]
"	助教授	清水御代明	思考の過程	[共]
"	靈長研	江原 昭善	人類学からみた人間の本性(西洋哲学史と共通)	[共]
"	醫學部	品川 嘉也	科学哲学論(西洋哲学史と共通)	[共]
"	講師	大山 正	イメージと知覚(教育学部と共通)	[共]
"	講師	生沢 雅夫	実験計画	[共]
"	講師	苧阪 良二	視覚行動論	[共]
"	講師	戸田 正直	理論心理学の諸問題	[共]
"	講師	難波精一郎	聴覚心理学の諸問題	[共]
演習	教授	本吉 良治	心理学演習II	[共]
"	教授	清水御代明	心理学演習I	[共]
"	教授	平野 俊二	心理学演習I	[共]
"	教授	清水御代明	心理学特殊実験(実験乙)	[共]
講読	助手	岡本 安晴	英文講読	[共]
実習	教授	本吉 良治	心理学基礎実験(実験甲)	[共]
"	助教授	平野 俊二	心理学基礎実験(実験甲)	[共]
"	助教授	清水御代明	心理学基礎実験(実験甲)	[共]
"	助教授	岡本 安晴	心理学基礎実験(実験甲)	[共]
"	講師	住田幸次郎	※統計基礎実習	[共]
研究	教授	平野 俊二	連合学習における強化の機制	[共]
演習	教授	本吉 良治	現代心理学の諸問題	[院]
"	助教授	清水御代明	現代心理学の諸問題	[院]
"	教授	中島 誠	発達心理学演習	[院]
"	教授	木下 富雄	現代社会心理学の諸問題	[院]
倫理学	教授	西谷 裕作	※倫理学概論	[共]
研究	人文研	上山 春平	宗教と国家	[共]
"	教授	作田 啓一	(未定)(社会学と共通)	[共]
"	教授	磯江 景孜	カント実践哲学と現代の諸問題	[共]
"	講師	岸畑 豊	十八世紀のイギリス倫理思想	[共]
"	講師	梅原 猛	日本思想史(哲学、宗教学、仏教学と共通)	[共]
演習I	教授	森口美都男	Max Picard: Die Atomisierung der Person	[共]
演習II	教授	森口美都男	倫理学の諸問題	[共]
演習	助教授	西谷 裕作	Leibniz: Nouveaux Essais sur l'Entendement humain	[共]
"	教授	山本 誠作	A. N. Whitehead: Process and	[共]

” 講師 深谷 昭三 Reality (宗教学と共通) [共]  
 ” 講師 安彦 一恵 M. Scheler: Der Formalismus in der Ethik und die materiale Werthik [共]  
 ” 講師 小池 澄夫 Hegel: Frühe Schriften [共]  
 ” 講師 西谷 裕作 Platon: Apologia Socratis (西洋哲学史・学部と共通) [共]

美学美術史学

講義 教授 吉岡健二郎 ※美学概論  
 ” 教授 清水 善三 ※日本美術史概説  
 研究 教授 吉岡健二郎 芸術存在と歴史 [共]  
 ” 教授 清水 善三 日本古代彫刻史研究 [共]  
 ” 助教授 佐々木丞平 日本における初期文人画の研究 [共]  
 ” 教授 乾 由明 近代日本の美術 [共]  
 ” 教授 新田 博衛 音楽作品の構造 [共]  
 ” 教授 山岡 泰造 室町・桃山の絵画 [共]  
 ” 講師 宮 次男 絵巻物概説(前期) [共]  
 ” 講師 辻 成史 中世写本挿絵研究 [共]  
 演習Ⅰ 教授 吉岡健二郎 美学美術史学の諸問題  
 助教授 清水 善三 佐々木丞平

演習Ⅱ 助教授 清水 善三 美術史学の実地指導 [共]  
 助教授 佐々木丞平 田能村竹田「山中人饒舌」  
 ” 講師 米沢 有恒 Alfred Baumeier: Hegels Aesthetik  
 ” 助手 篠原 資明 Mikel Dufrenne: Phénoménologie de l'expérience esthétique  
 演習Ⅰ 教授 吉岡健二郎 美学美術史学研究の諸問題 [院]  
 助教授 清水 善三 佐々木丞平

社会学

講義 教授 中 久郎 ※社会学概論  
 ” 教授 中 久郎 社会的自我論 [共]  
 研究 助教授 宝月 誠 社会的相互作用の研究 [共]  
 ” 教授 作田 啓一 (未定)(倫理学と共通) [共]  
 ” 教授 間場 寿一 投票行動の研究 [共]  
 ” 教授 大林 信治 ウェーバーの官僚制 [共]  
 ” 教授 清野 正義 社会学理論の研究 [共]  
 ” 教授 中道 実 社会調査法 [共]  
 ” 教授 浜口 恵俊 日本人の人間モデルと関係モデル [共]  
 ” 講師 西谷 敬 社会科学の哲学的基礎(西洋哲学史と共通) [共]  
 ” 講師 M. K. minority group の研究(比較社  
 Maykovich

社会学と共通(前期)

「演習I」教授 中 久郎

社会学の諸問題

[共]

「演習II」助教授 宝月 誠

社会学方法論

実存転換、あるいは「転依」をめぐる諸問題

[共]

「講読」助手 安野 早己

英書講読

「講」師 荒木美智雄

宗教における構造と歴史 [共]

「演習」助教授 中 久郎

現代社会学の諸問題

「講」師 梅原 猛

日本思想史(哲学、倫理学、仏教学と共通) [共]

「教養部」助教授 高橋 三郎

態度変容の諸問題

「演習I」教授 上田 閑照

M. Heidegger: Einleitung zu Was ist Metaphysik? [共]

「社会学(比較社会学)」助教授 坪内 良博

比較社会学の方法と課題

「助教授」長谷 正当

Henri Bergson: Les deux sources de la morale et de la religion (前年度の続文) [共]

「法学部」教授 棚瀬 孝雄

比較社会的に見た日本(法学部と共通)

「演習」教養部 山本 誠作

A. N. Whitehead: Process and Reality (倫理学と共通) [共]

「人類学」講師 口羽 益生

人類学的文化研究の視点と方法

「講」師 石田 慶和

親鸞: 教行信証(仏教学と共通) [共]

「M. K. Maykovich」講師

minority group の研究(社会学の学部と共通)(前期) [院]

「講」師 藺田 坦

E. Cassirer: Individuum und Kosmos in der Philosophie der Renaissance [共]

「水津 利明」助教授

地域の諸問題(地理学と共通) [院]

「講読」講師 三谷 好憲

William James: The Will to Believe (西洋哲学史と共通) [共]

「上田 閑照」教授

※宗教学概論

「講」師 細谷 昌志

Kant: Die Religion innerhalb der Grenzen der blossen Vernunft [共]

研究 教授 上田 閑照  
講義 教授 上田 閑照  
研究 教授 上田 閑照

「講」師 細谷 昌志  
「講」師 三谷 好憲

演習II 教授 上田 閑照 宗教哲学の諸問題 [院]

仏教学

講義 教授 梶山 雄一 ※インド仏教思想史

研究 教授 梶山 雄一 説一切有部の哲学 [共]

” 助教授 御牧 克己 判那滅論証と恒常性批判 [共]

” 講師 梅原 猛 日本思想史(哲学、倫理学、宗教学と共通) [共]

” 講師 竹中 智泰 『Arakabasa』の研究(印度哲学史と共通) [共]

演習 教授 梶山 雄一 藏文『般若三昧経』 [共]

” 助教授 小林 信彦 サンスクリット文選I(印度哲学史、梵語学梵文学と共通) [共]

” 助教授 小林 信彦 パーリ・プラークリット文選(梵語学梵文学と共通) [共]

” 助教授 御牧 克己 Blo gsal grub mtha' [共]

” 客員 教授 Steinkeiner Vadanyāya (前期) [共]

” 人文研究 教授 柳田 聖山 『趙州録』 [共]

” 講師 石田 慶和 親鸞：教行信証(宗教学と共通) [共]

” 講師 本庄 良文 Pali Udāna [共]

” 講師 佐々木恵精 チヘット語(初級) (各学科共通) [共]

” 講師 佐々木恵精 チヘット語と共通) [共]

” 講師 本庄 良文 Pali Udāna [共]

” 講師 佐々木恵精 チヘット語(初級) (各学科共通) [共]

” 講師 佐々木恵精 チヘット語と共通) [共]

” 講師 佐々木恵精 チヘット語と共通) [共]

” 講師 佐々木恵精 チヘット語と共通) [共]

” 講師 佐々木恵精 チヘット語と共通) [共]

” 講師 正信 公章 ※サンスクリット文法(各学科共通) サンスクリット文法、印度哲学史、西南アジア史学、梵語学梵文学と共通)

” 講師 正信 公章 ※サンスクリット文法(各学科共通) サンスクリット文法、印度哲学史、西南アジア史学、梵語学梵文学と共通)

基督教学

講義 教授 水垣 涉 ※古代キリスト教思想史概説

研究 教授 水垣 涉 信と知 [共]

” 講師 森田雄三郎 科学・技術・哲学と神学 [共]

” 講師 金子 晴勇 ルターと後期スコラ神学(西洋哲学史と共通) [共]

” 講師 松田 禎二 中世の歴史哲学(西洋哲学史と共通) [共]

演習 教授 水垣 涉 Origenes: Comm. in Ev. Joannis [共]

” 講師 荒井 章三 古典ヘブライ語文法(西南アジア史学と共通) [共]

” 講師 遠藤 彰 「ローマ人への手紙」の原典講読と釈義 [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

” 講師 高森 昭 Schleiermacher-Auswahl [共]

### 六 京都哲学会委員の異動

昭和五十七年四月一日をもって、新たに

清水御代明(しみず・みよあき)氏——心理学講座助教授に着任のため——、御牧克己(みまき・かつみ)氏——仏教学講座助教授に着任のため——が、京都哲学会委員に加はられた。なほ、五十五年四月一日をもって退任された佐々木亮氏の後任として、同日付をもって、竹原創一(たけはら・そういち)氏(基督教学講座助手に着任)が、委員に就任されてゐる。

前々号(五四三号)の誤植訂正

誤

七二頁二行 二の(26)

正

二の(23)

前号(五四四号)の誤植訂正

誤

一一頁三行

(De ente et essentia. De ente et essentia.

正

1.3°

1.3)°

一〇九頁一八行 一初捨象

一切捨象

一〇九頁二三行 見出す(1)°

見出す(10)°

### 告 白 文 論 号 次

古代キリスト教における好奇心の問題

..... 水 垣 渉

論理における原理的なるもの

——アリストテレスの所論をめぐって——  
..... 大 出 晁

力学における決定論と意識の自由について

——情報構造としての意識——  
..... 品 川 嘉 也

デカルトにおける永遠真理創造説について

..... 平 松 希 伊 子